

第 652 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「日本のチカラ しろね子フルーツ～プラムで笑顔を届けます～」
(放送日時 2019 年 10 月 13 日 (日) 午前 5 時 45 分～午前 6 時 15 分)



令和元年 11 月 28 日

BSN新潟放送

第652回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和元年11月28日(木) 午前11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	古賀 豊	委員	稲 荷 善 之
委員	小島 良子	委員	高木 言 芳
委員	三井田 由香	委員	渡 邊 信 子

○審議番組事前レポート提出

委員	馬 場 幸 夫	委員	石 坂 智 恵 美
----	---------	----	-----------

○委員側欠席者 (敬称略・順不同)

副委員長	佐 藤 元	委員	小 原 清 文
------	-------	----	---------

○放送事業者側出席者

社 長	佐 藤 隆 夫	専務取締役	島 田 好 久
メディア本部長	金 田 博 幸	編成局長	荻 部 秀 治
情報センター長	小 湊 潤		

<説明員> 情報センター テレビ制作部 高橋 紘子

事務局 阿 部 基 行 (編成局テレビ編成部長)

4. 議 題

1 報告事項 ・12月の番組について (各局長)

2 審議番組 ・テレビ番組「日本のチカラ

しろね子フルーツ～プラムで笑顔を届けます～」

(放送日時 2019年10月13日(日) 午前5時45分～午前6時15分)

5. 議事の概要

各局長からの2019年12月度番組報告に続いて、テレビ番組「日本のチカラ しろね子フルーツ～プラムで笑顔を届けます～」(10月13日放送)について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 農業離れが進む状況の中、若い農家たちが楽しく取り組んでいたのが印象的だった。
“しろね農業青年部”には、色々なタイプがいて、こういう人たちがこれからの世の中を変えていくのだらうと思った。若い力を感じることができた清々しい番組だった。
- 意義がある番組なので、ぜひ多くの人に見てもらいたいと思った。
- “しろね農業青年部”に個性派がそろっていて、素晴らしいと思った。それぞれがプライドを持って果樹などを栽培していて感動した。
- キャリア教育が議会でも出ています。富山さんの生き方なども盛り込んで頂けたら、キャリア教育の題材になる可能性があると感じた、
- 若手果樹農家の富山さんが最初に出てきて、富山さんを軸に進むと思ったが“しろね農業青年部”など登場人物が多く出てきて青年部でまとめてもよかったと思った。また、富山さんが青年部の中で一目置かれている存在であることも伝わった。
- 白根のプラムを使用している東京のレストランを取材していたが、この中でシェフのコメントがなかったが残念だったが、お客さんの「白根に言ってみよう」とのコメントがあってよかった。
- 自慢のフルーツで、地域を元気にしたいという若い農家たちの思いが伝わった。
- なぜ、富山さんがプラム栽培を始めようと思ったのか知りたくなった。また、プラム栽培の苦労話を盛り込んだ方が良かった。
- ギネスに3回挑戦していたが、どんなところを改良して挑戦したかを知りたかった。
- ギネス挑戦の寄付金の内訳を知りたかった。
- こうした情熱のある若い農家を継続的に紹介して、新潟の農業を元気づけてほしい。
- 人に焦点を合わせすぎると農業から離れる部分が出たりするが、人と農業のバランスが取れていたドキュメンタリーだった。

～新潟放送 情報センター テレビ制作部 高橋紘子ディレクターから～

貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。

「日本のチカラ」は、若い力と魅力あふれる産業の紹介が1つのテーマになっています。富山さんは魅力ある人物で、3回目のギネス挑戦を聞いて番組にしようと思いました。富山さんのプラム栽培のきっかけを番組に入れ込むことはできませんでしたが、手軽に食べられる果樹としてプラムを選んだそうです。

青年部には個性的なメンバーがいて魅力を感じていまして、現在も取材を続けています。次回は1時間番組にしたいと考えています。

また頂いたご意見を参考に、今後の番組作りに役立てていきたいと思っております。

本日はありがとうございました。

【文責・番組審議会事務局】